



日本共産党台東区議会議員団

すぎ やま みつ お
杉山 光 男

政治空白について

問 米軍基地縮小のための行動を、区長会等を通じて起こすべきではないか。**答** 政府の責任において解決を図る問題であり、推移を見守っていきます。**問** 「政治とカネ」の問題について、区長は、企業・団体からの政治献金を受け取らないと明確に言明すべきではないか。**答** 政治資金は、法に基づき適正に処理しています。今後も、適切に対応します。**問** 医療制度について、⑦後期高齢者医療制度そのものに反対すべきではないか。①住民税非課税世帯には、国民健康保険資格証明書は発行せず、通常の保険証を発行すべきではないか。②医療費無料化の対象を75歳以上及び高校生までに広げるべきではないか。③国民健康保険制度維持のため、国庫補助の増額を求めるべきではないか。**答** ⑦国は、制度廃止を前提に新たな制度の検討を進めています。検討状況を踏まえ、適切に対応していきます。①納付相談の機会を持ち、資格証明書の発行を減らすよう努めています。②後期高齢者医療費の自己負担金は、法律に基づくものであるため、無料化は考えていません。

また、中学校3年生までを対象とする現行制度を継続していきます。⑤国の動向を注視しながら、適切に対応します。

ものづくりと観光の展開について

問 台東区のものづくりの宝は、「若い力」であり、その力は区の活性化に役立つと確信している。⑦区長は若い人たちと懇談したことがあるか。①台東デザイナーズビレッジの卒業生などを対象に、出店支援などの特別な支援を行うべきではないか。②隅田公園リバーサイドギャラリーでの展示会について、区が後援する場合に限り、物品販売を認めてはどうか。**答** ⑦ファッションザッカフェア事業の際には、多くの若手デザイナーと懇談し、情熱とパワーを肌で感じています。①アトリエ化支援などの助成に加え、台東デザイナーズビレッジの卒業生等が、商店街の空き店舗でアトリエ店舗を開設する際に、支援を行うモデル事業に着手しました。②ギャラリー本来の利用目的の範囲で、地場産業振興のために行う展示販売等について、柔軟に対応していきます。**問** 雷門やパンダなどを題材にした切手の発行について、郵便局株式会社に積極的な働きかけをしてはどうか。**答** 今年の入谷朝顔まつりとほおずき市にあわせて、観光行事の切手が発行される予定です。引き続き、郵便局株式会社に対し、働きかけていきます。



いぶきの会

ほり こし ひで お
堀 越 秀 生

区長および行政2役の退職金制度廃止を求む

問 現在、区長、副区長及び教育長には4年の任期終了ごとに退職金が支給されているが、こうした制度は、区民の理解を得難く、今の経済状況や区民感情に即していないと考える。区長、副区長及び教育長の退職金制度の廃止を求めるが、所見を伺う。また、退任した山田前副区長には、この制度の適用はなかったと聞くが、どうか。**答** 区長、副区長及び教育長の退職金については、区政の状況や「東京都台東区特別職議員報酬及び給料審議会」の意見等を尊重し、適宜判断していきます。なお、退任した山田前副区長の退職金や退職に伴う手当等については、

条例の規定により、一切支給していません。

銭湯(公衆浴場)のない地域の高齢者のために“めぐりん優待”を

問 自宅に浴室がなく、銭湯に通う高齢者で身体の不自由な方のために、循環バスめぐりんの運賃助成ができないか。**答** めぐりんは、当初より高齢者をはじめ多くの方々にご利用いただけるよう、料金を100円、運行間隔を15分にして運行してきました。今後も、現行料金を維持し、安全運行に努めます。**問** 自宅に浴室がない高齢者で、特に、身体の不自由な高齢者のために実施している入浴事業について伺う。**答** 自宅に浴室がなく、身体機能の低下などにより公衆浴場へ通えない高齢者に対し、住宅改修事業の一環として、浴槽の新設改修について助成を実施しています。また、介護保険サービスとして、訪問入浴介護や施設入浴サービスを実施しています。



台東区議会自由民主党

いし かわ よし ひろ
石川 義 弘

区内病院について

問 永寿総合病院と台東病院のすみ分けや位置づけをどのように考えているか。**答** 永寿総合病院は区の中核病院として、台東病院は高齢者の慢性期医療を担う拠点病院として、それぞれの役割を果たすとともに連携を図っていきます。**問** 高齢者の在宅診療を行う診療所に対し、台東病院はどのような支援を行うべきか。**答** 台東病院に連携会議を設置し、在宅医療を担う診療所の医師等と情報交換を行うなど、支援に取り組んでいます。**問** 台東病院の継続的・安定的な運営のため、利用者数の増加は必須の課題である。⑦老人保健施設千東の一層の利用者の増加を図るべきではないか。①経営安定化のため、今後、どのように取り組んでいくのか。**答** ⑦利用者数は、現時点で高い水準を維持しています。今後も空床状況の周知を図るなど、利用者数の増加に向け

た取組みを積極的に進めます。④台東病院等運営協議会を設置し、施設全体の経営状況の評価・検証を行います。この結果を施設運営に活かし、早期に安定した経営となるよう、努力していきます。

新観光ビジョンについて

問 区内の近代建築物を残し、魅力を発信する必要があると考える。保存等に取り組むべきではないか。**答** 近代建築物を紹介する冊子の発行や、文化財講座等の啓発事業を行っています。今後の取組みについては、台東区文化財保護審議会の意見を踏まえ、さらに検討していきます。**問** 隅田川のテラスの整備は順調に進んでいると聞くが、水辺整備の進捗状況を伺う。また、後背地のにぎわいを創出するため景観整備等の支援が必要と考えるが、どうか。**答** 東京都観光汽船の水上バス乗場については、本年夏の開業を目指しています。吾妻橋上流の親水テラス整備は、9月に完成予定であり、吾妻橋・駒形橋間は24年度に完成予定です。また、景観整備については、東京都が、景観計画の中で、隅田川に顔を向けた建築の誘導を図っており、本区の景観計画でも、この趣旨を継承し、支援策の検討等を行っていきます。



台東区議会区民クラブ

あお やぎ まさ ゆき
青柳 雅 之

隅田川について

問 隅田川を中心とする水辺について、これまで様々な整備が行われ、イベント等が盛んに行われてきた。台東区と墨田区にはさまれたエリアの隅田川の活用については、これからも台東区が中心となって進めるべきと考えるが、今後の展開も含めて、区長の所見を伺う。**答** 隅田川では、以前より、花火大会、早慶レガッタなどの様々なイベントを展開し、にぎわいと潤いを作り出してきました。また、東京スカイツリーの開業を見据え、隅田川水辺周辺の基盤整備にも積極的に取り組んできました。今年度には、吾妻橋上流の親水テラス、新防災船着場等の整備や、水上バス乗り場の建て替えなどの事業が完了します。今後も、こうした基盤整備とともに、四季折々のイベントなどを積極的に推進し、また、東京都が進めている隅田川ルネサンスとも連携しながら、水辺のにぎわ

いのさらなる創出を図っていきます。

予防接種の公費助成について

問 医療技術が進歩する中、子どもを対象とする新規ワクチンに注目が集まっているが、経済的に余裕のない方は任意予防接種を受けられないなどの問題もあるため、様々な形で公費助成が始まっている。本区における任意予防接種への公費助成のあり方について、まず、どのワクチンを優先するのか、対象範囲や助成額をどうするのかなどの基本的な考え方を打ち出し、その上で、個々の予防接種について、助成を実施していくべきと考えるが、どうか。**答** ヒブワクチンや小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンなどの新規ワクチンの任意予防接種については、感染症予防やがん予防の観点から子育て世代の関心が高まっています。本区における任意予防接種に対する公費助成については、新たな知見や定期接種化に向けた国の検討状況を注視しつつ、子育て世代の負担軽減の観点からも、対象ワクチンの範囲を含め、早期実施に向けて検討しているところです。